

第5次朝日町総合計画を策定しました

あさひステップアップ2020プラン

近年の世界的な経済危機や雇用不安、税収の減少に伴う国・地方の財政状況の悪化等に対応するとともに、急激な人口増、伊勢湾岸自動車道路の開通、みえ朝日ICの開設など地域構造が大きく変化する中、町民と行政が協働して新しいまちを築いていくため、今後のまちづくりの方向性とその実現のための基本目標を示す、新たな指針として第5次朝日町総合計画を策定しました。

策定にあたりましては、朝日町まちづくり条例に基づく総合計画審議会及びまちづくり委員会、住民アンケート、パブリックコメント等を行い、町民の皆さんとの協働で作成しております。

まちづくりの基本視点

基本視点1

「暮らしやすさ」

緑の自然環境と共生する快適なまちづくりを進めるとともに、安全・安心の確保を基本に、子どもから高齢者まで、健康で生きがいを持ち、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさ、生活の豊かさを実感して暮らせるまちづくりを進めます。

基本視点2

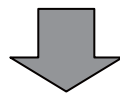
「朝日らしさ」

歴史遺産などの地域資源やこれまでのまちづくりでの成果を生かし、人づくり、地域づくりなど、多彩な朝日らしさを創造・発信し、誇れるまちづくりを進めます。

基本視点3

「連携と協働」

様々な分野における町内外での連携を重視したまちづくりを進めるとともに、町民と行政がそれぞれの役割と責任を持って協働する、町民と行政が一体となった自立したまちづくりを進めます。



目指すべき朝日町の将来像

いきいき暮らす緑と歴史のまち 朝日

恵まれた立地条件をはじめ、緑の自然環境、歴史と文化など本町の特長・資源や、これまでのまちづくりの歩みを最大限に生かしながら、町民と行政の協働を基本に、すべての環境のステップアップを進め、子どもから高齢者まで、町民一人ひとりがいきいきと住み、働き、学び、憩い、楽しむことができるまちをつくるという想いを込め、将来像を定めました。

将来人口

本計画の推進による暮らしやすさの向上を図り、

定住人口1万人

の維持を目指します。